

その挑戦が 型やぶり

Keep Innovating.

型やぶりの挑戦者からのメッセージ

継続は力なり
あきらめることなく
がんばろう!

大槻公一教授
鳥インフルエンザ研究センター長

鳥インフルエンザから世界を守る

動物から人に感染し、命を奪う恐れもある疾病「鳥インフルエンザ」が近年、世界中で問題となっている。その感染メカニズムや病原体の解析、国内外での防疫体制の調査・研究に30年以上前から取り組んでいるのが、京都産業大学鳥インフルエンザ研究センター長 大槻公一教授だ。調査を始めたのは、まだ日本で鳥インフルエンザの発生がなく、ウイルスの存在自体も知られていなかった時代のこと。鳥以外の生物にも感染し、しかも渡り鳥を

介して海をも越えるという、他のウイルスには見られない性質に興味深さと使命感を感じて地道な研究を続けてきた。「流行は追わない。しかし重要だと思うことを息長くやり続ける。それが研究者としての挑戦」。そんな信念を胸に、西日本を中心としたフィールドワークのほか、ベトナムを主な拠点に、アジアでの野鳥や渡り鳥の調査も10年以上継続して行う。大槻教授の鳥インフルエンザ撲滅に向けた地球規模での挑戦はこれからも続く。



京都産業大学

2015年、50周年を迎えます

● 経済学部 ● 経営学部 ● 法学部 ● 外国語学部 ● 文化学部 ● 理学部 ● コンピュータ理工学部 ● 総合生命科学部

2014年4月外国語学部が変わります。 ※設置申請中(内容は予定であり、変更が生じる場合があります。)

型やぶりの挑戦をもっと詳しく ▶ <http://www.kyoto-su.ac.jp>